

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

本校の卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）は称号付与の可否判断の基準となる「卒業判定の要件」と、受講するカリキュラムを通して習得を期待する能力、育成する人物像を示した「教育目標に定める人材育成」に基づき定めています。

【卒業判定の要件】

履修科目すべての単位を修得していることが卒業判定の要件となります。科目ごとに定めた全ての定期試験においてS、A、B、C評価であれば合格とし単位認定とします。D、E評価のものは不合格となり、前期末および後期末の追試験期間内に科目ごとに定めた追試験を受け合格することでC評価とします。尚、1年次において進級判定の要件も同様としています。

【教育目標に定める人材育成】

本校は教育目標に定める人材を育成するために、修業期間である2年間の在学中に所属する学科の教育目標に定めた専門分野に関する知識、技術、並びに教養を習得し、履修科目全ての試験に合格し所定の出席率を超過した学生に称号を付与します。

各学科の「教育目標に定める人材育成」を以下の通り定めています。

●音楽アーティスト科

音楽アーティスト科は以下の専門分野に関する知識、技術、並びに教養の習得を称号付与の要件とします。

□次にあげる、専門分野の知識、技術、並びに教養を習得していること

一、理論や類例を通じて得る知識量と反復実践において獲得するテクニックを包括し、エンタテイナーとして即戦力となりうる高度な技術力を習得していること

一、ワークショップや討議などを通じてエンタテイナーとしての美学や哲学など多様な感性を磨き、ステージにおけるケーススタディーを通じて観衆を魅了しうるパフォーマンス力を習得していること

一、専門分野における基礎課程を土台とした作品制作における技術や知識の組み合わせ、及び実験を試みながら新時代に対応しうる創造性やクリエイティビティーを習得していること

□次にあげる、進路に関連する文化向上に貢献しうる人材であること

一、新技術などの革新的事象に対する柔軟な受容を行え、新たな時代に対応しうる知的な好奇心を持った人材であること

一、グローバル化の進行の中で多様な文化や価値観を尊重する国際性豊かで多角的な視点を持った人材であること

一、産業界の慣習を理解し、ビジネス慣行に対応した社会性を実践しうる礼節豊かな人材であること

●音楽芸能スタッフ科

音楽芸能スタッフ科は以下の専門分野に関する知識、技術、並びに教養の習得を称号付与の要件とします。

□次にあげる、専門分野の知識、技術、並びに教養を習得していること

一、授業内で使用した様々な機器の名称、役割、正しい接続方法、基本的な操作技術を習得していること

一、授業内のグループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション等で学んだ音楽スタッフそれぞれの役割と演者との関係性を理解し、実践的なイベントにおいて活かすことのできるコミュニケーション能力を習得していること

一、様々な環境や条件を想定した授業を受講した結果として、いかなる場面においても音楽スタッフとして、それぞれの役割の上で臨機応変に対応できる能力を習得していること

□次にあげる、進路に関連する文化向上に貢献しうる人材であること

一、社会において自己の確立を目指し自己の適性を理解し、キャリアプランニングに活かすことができる人材であること

一、自ら考え行動し自己の洞察力を磨くことで培った、問題点を分析し解決する能力を持った人材であること

一、進路に関連する知識、技術の習得を追求し、自己研鑽できる意思を持った人材であること

●専攻科

専攻科は、2年制専門課程における基礎を土台としたさらなる技術研究を通じ、以下の専門分野に関する知識、技術、並びに教養の習得を修了の要件とします。

□次にあげる、専門分野の知識、技術、並びに教養を習得していること

一、プロ育成の課程で培った基礎及び応用力を前提に、より高度で専門的な技術研究を重ねることで、エンタテインメント分野の第一線で即座に評価・通用する「完成度の高い技術」を習得しているプロフェッショナルとなること

一、多分野に精通する「総合力」の獲得を通じ、業界の多様なニーズに応えうる「ユーティリティ（汎用性）のある高度な技術的対応力」を習得していること

一、自らの課題を克服するための実験と研究を繰り返し、新時代のエンタテインメントに対応しうる高度な創造性や表現力を習得していること

□次にあげる、進路に関連する文化向上に貢献しうる人材であること

一、自律的に技術や感性のレベルアップを図り、業界の革新的な変化に対しても柔軟に対応できる高い知的探究心を持った人材であること

一、2年制専門課程での学びを深化させ、プロとしての自覚に基づき、音楽・芸術文化のさらなる発展を牽引し、次世代のエンタテインメントを創造しうる担い手となる人材であること

一、産業界の慣習およびビジネス慣行に精通し、豊かな人間力を備え、業界に即した対応力を発揮できる礼節ある人材であること